

# 米倉教公の週間為替市場見通し

## 6/5 日週号

ドル/円予想レンジ 108.20 - 112.00 円

### 『8-9日に重要イベント集中し円高リスクに注意!』

#### ■前週の市場動向：ドル/円は神経質な展開！

前週のドル/円週足では、上ヒゲのある陰線引けとなった。週明けは、早朝の北朝鮮によるミサイル発射がリスクオフの円買いを招き上値が重くなった。ただ、英米市場が休場ということもあり、111円台前半でもみ合いとなった。30日は、ギリシャ債務問題やイタリアの総選挙の早期実施観測を背景として欧州政治リスクが高まり、一時110.63円まで下げた。31日は、アジア時間には月末絡みのドル買いが観測され111円台前半まで値を切り上げた。海外時間には米長期金利の低下を背景に110.46円まで下げた。翌1日は、日経平均株価の大幅上昇でドル買いが強まった。また、5月ADP全米雇用報告が市場予想を大幅に上回ったことでドル買いが加速し、一時111円台半ばまで反発した。2日は、日経平均株価が2万円の大台を回復したことで、一時111.70円台まで上昇する場面も見られたが、その後は一転下落した。米5月雇用統計や4月貿易収支などが市場予想を下回り110.30円台まで下押しした。

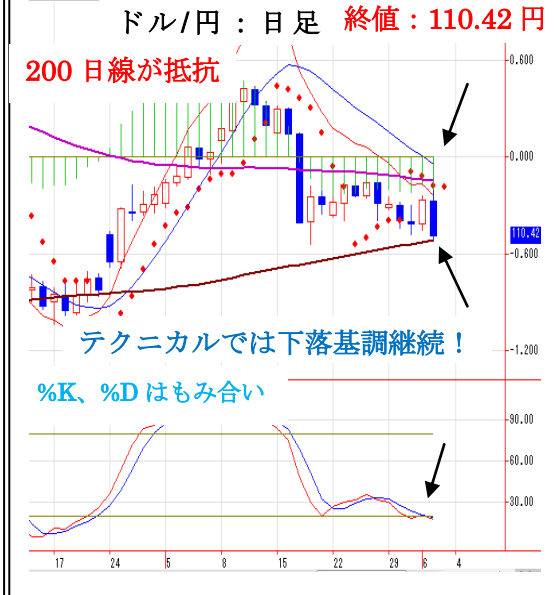
#### ■今週の注目点：8-9日に重要イベント集中し円高リスクに注意！

来週の米国では、8日、9日に重要イベントが集中する。8日は『日本の4月国際収支と1-3月期GDP・2次速報』、『中国5月貿易収支』、『ECB理事会（併せてECBメンバーの経済見通し公表）』、『英総選挙』、『コミー元FBI長官・公聴課に参加（上院上方特別委員会）』。9日は『英総選挙の結果』、『中国の5月消費者・生産者物価指数の発表』、『日経平均メジャーSQ』、『満月と木星の逆行が終了』となる。中国では、直近の財新のPMIが昨年6月以来の『50割れ』となり、中国リスクが顕在化するリスクが出てきた。ECB理事会では景気見通しの引き上げとテーパリングが討議される可能性がある。英総選挙では、保守党が議席数を減らし、メイ首相の求心力の失墜リスク。コミー氏の公聴会では『ロシアゲート』の新事実が出てきた場合のリスクがある。上値目途は、2日高値の111.71円、75日線の111.87円、17日大陰線の半値戻し111.96円、下値目途は、200日線の110.30円、18日安値110.23円や節目の110.00円、4月25日安値の1109.56円や4月17日安値108.14円となる。

#### ■テクニカル的な見解：テクニカル的には下落トレンド継続！

シカゴIMM投機筋の5月30日付け対米ドルの差し引き持ち高は、円は前週の▲51,656から▲52,275へと売り持ちは前週から増加した。パラボリック（パラメータ：0.08、0.3）では、5月30日から売り転換が継続。5日のSARは111.71円まで上昇すると買い転換となる。MACD（パラメータ：12、26、9）では、MACDとシグナルがデッドクロス継続。ストキャスティクス・スロー（パラメータ：14、3、3、20、80）では、%K：17.43、%D：18.65と売られ過ぎの過熱感も。75日線（紫線）が上値抵抗ラインとなっている一方、200日線（茶線）が下値支持ラインに。ロウソク足は、前日ロウソク足に対して上値切り上げ・下値切り下げの『包み足』となっていることから週初の動向がカギを握る。週後半にかけてリスク回避の動きが高まる可能性があるので注意したい。9日は満月となりドル安になりやすいというアノマリーも。

本レポートについての注意事項は巻末をご覧ください。必ずご確認ください。



#### ★前週の気になる出来事

トランプ大統領は、『米国にとって不利な条件で締結された』、『米国の雇用が奪われる』として、離脱を決定した。しかし、この協定は、京都議定書と異なり、罰則は求めている。よって、米国民に対するただのパフォーマンスに過ぎないのである。週末にはNY原油先物は一時46.74ドルまで下落した。この離脱決定で原油価格が下落していくようなら、産油国や中東との軋轢につながるリスクも高まる。G7でも、トランプ大統領は安倍首相が擁護する以外は他のG7メンバーと溝深まり一人ぼっちに！

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 28 食産第 3988 号,経済産業省 20161108 商第 10 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

**【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】**

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

**【価格変動リスク】**

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

**【レバレッジリスク】**

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

**【信用リスク】**

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

#### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

#### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

#### 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

#### 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第37条の6の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。